

## 主 文

本件上告を棄却する。

## 理 由

弁護人佐藤重一、同位田亮次の上告趣意（後記）は、単なる訴訟法違反の主張に  
歸し、（そして、原控訴趣意の所論摘示の部分は、量刑不当の一つの情状として主  
張されたものと解しうるから、必ずしも所論の違法あるともいえない。）刑訴四〇  
五条の上告理由に当たらない。また記録を精査しても被告人が常習として本件賭博を  
したものであることが明らかであるから、同四一一条を適用すべきものとは認めら  
れない。

よつて同四一四条、三八六条一項三号により主文のとおり決定する。

この決定は、裁判官全員一致の意見である。

昭和二七年五月一日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	斎	藤	悠	輔
裁判官	沢	田	竹 治	郎
裁判官	真	野		毅
裁判官	岩	松	三	郎